

令和5(2023)年度栃木県普及指導活動外部評価結果

1. 評価

事務所名	塩谷南那須農業振興事務所			
評価対象事例名	酪農・肉用牛の生産基盤強化による持続的経営の確立(放牧利用の拡大)			
項目	視 点	評 価		
		A	B	C
取組の背景・ねらい	①現状や問題についての分析は十分か	2	4	0
	②問題点に対し、適切な課題が設定できているか	1	5	0
	③施策に合わせた目標を設定しているか	1	5	0
活動対象・活動の内容	④活動対象の選定は適切か	3	3	0
	⑤課題や活動対象に対し、活動方法は適切か	2	4	0
	⑥市町・JA等関係機関や試験研究機関との連携は図られているか	5	1	0
	⑦活動は計画的かつ効率的に実施されているか	4	2	0
	⑧農業者との信頼関係を築き、普及活動を行っているか	3	3	0
活動の成果・今後の対応策	⑨実績に対する要因分析がされているか	2	4	0
	⑩残された課題について検討されているか	2	4	0

(1) 評価項目は、各項目の視点に基づき評価する。

(2) 評価基準は、消費者視点も踏まえた上で、以下の3段階とする。

A: 良好である B: 普通である C: 不良である

(3) 評価における数値は、評価対象事例の各項目に対して、A~Cを評価した外部評価委員数を表している。

2. 評価委員の意見

○放牧場利用拡大の課題解決に向けて、放牧利用の展示や情報提供のほか、課題の分析を進め、より効果的な活動の展開を期待する。

○公共牧場の利用拡大に向け、コスト面を踏まえた推進を期待する。

○飼料価格の高騰により飼料費や労働負担の軽減ができる放牧に注目していることを評価する。スマート機器の導入などにより課題解決に向けた活動を継続していただきたい。

○生産コストの高騰もある中で、放牧利用は畜産農家の関心も高まっている状況であり、今後も利用拡大に取り組んでいただきたい。

○公共牧場の活用推進に向けて、課題分析を進めるとともに、さらなるPRや休止中の牧場再開を促す取組も検討願いたい。

○公共牧場の利用推進は、非常に良い取組と考えるので、全県で情報共有されることを期待する。